

中学校生徒会サミット2025

議会では、湖南省議会基本条例制定前の平成24年5月に4中学校区域を対象とした試行的な議会報告会の開催を皮切りに、各常任委員会の所管団体や高校生を対象とするなど、広報(情報発信)と広聴(意見聴取)の場づくりを重ねてきました。

昨年度は、その取組の一環として教育長はじめ先生方のご協力を得て「湖南省中学校生徒会サミット2024」を実施し、4校の生徒会と議員がグループに分かれて意見聴取を実施。いただいた意見は、議会の「チャレンジシステム」(意見を委員会報告や提言等の形で市政に反映する仕組み)を活用し、総務・福祉教育・産業経済の各常任委員会の連合審査で共有・協議しました。

今年度から、議会の広報・広聴機能の強化を目的に新設された「広報広聴常任委員会」が市民との意見交換会を所管することとなり、その一環として、中学校生徒会サミットも昨年に引き続き、実施する運びとなりました。

今年の中学校生徒会サミットは、昨年度の反省を踏まえた改善を行い、議論に充てる時間を昨年より多く確保しました。ファシリテーターは、昨年は教育委員会からの配置でしたが、今年度は教育委員会2人に加えて議員2人も担当し、進行と記録の双方を強化しました。進行方法は、付箋と模造紙を用いたワークシopp形式で、出された意見をその場で可視化し、整理・深掘りを行いました。ファシリテーションにあたっては「大人が結論を誘導せず、中学生の主体的な意見を引き出す」「否定せずに問いかけで思考を支える」「可視化で合意点と論点を整理する」といった基本姿勢を共有し、中学生が安心して発言できる場づくりを心掛けました。

今年の議論では、大きく次の4点が整理されました。

① **交流・つながり**
学校間交流(合同行事等)の充実、地域・世代間交流の推進、生徒会同士のネットワーク形成。

② **居場所(遊び・学び)**
図書館やまちづくりセンター等での自習・調べ物環境、屋内外の遊び・スポーツの場、若者向けフリースペースの確保、また中学生が自ら企画する機会の整備。

③ **交通・移動**
JR草津線の利便性向上、地域施設へアクセスしやすいバス路線、通学を含む移動の安心確保。

④ **魅力・活性化**
名物・特産の発信、若者に人気の施設・店舗、駅前やまちなかのにぎわいづくり。

これらに関し、行政の役割としては、交流を恒常化する枠組みや助成、施設のWIFI・電源・椅子等の環境整備、イベント申請の簡素化と伴走支援、交通事業者への働きかけや中高生向けアンケートの実施、プロモーション施策との連携などが挙げられました。

今後、いただいた意見は昨年度同様にチャレンジシステムで扱うこととなり、① **交流・つながり** および② **居場所(遊び・学び)**については、総務・福祉教育の各常任委員会、③ **交通・移動**および④ **魅力・活性化**については、産業経済常任委員会において議論や調査、検討を深めてまいります。

併せて、昨年度は実施できなかった取組として、今年度は年度中に議員が各中学校を訪問し、いただいた意見の取り扱いについて途中経過を報告することを計画しています。

広報広聴常任委員会では、中学校生徒会サミットの成果と課題を次年度に引き継ぎ、継続的な開催に向けて改善していきます。湖南省議会では、

今後このような広聴の機会を通じ、いただいた声を「聞いて終わり」にせず、政策サイクルに乗せることにより、市政への反映につなげてまいります。

アンケート広聴を実施しました

湖南省夏まつりにて、湖南省議会初めての試みのアンケート広聴を実施しました。

実施内容と集計結果は、以下の通りです。

設問① 回答数121

議会広報紙を

いつも見ている

時々見ている

見ていない

設問② 回答数111

広報紙の発行日を10日早め21日としたが

良かった

良くなかった

わからない

の結果となりました。

また、年齢層別資料も取らせていただきました。結果については、今後の広報紙発行方法や、読者増につなげる貴重な資料とさせていただきます。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

